



ふれあい KORIYAMA FIRE DEPT. 消防 119

2021年
(令和3年)

vol. 1
(7月号)

風水害 避難指示で必ず避難！

予防救急 熱中症予防と応急処置



磐梯熱海温泉街での消防訓練

火災ゼロNEWS

電気配線からの火災に注意

つたえる予防ひろば

危険物にZoom

台風・豪雨時等の避難情報が変わりました！

令和3年5月20日から **避難指示で必ず避難！**



災害時は正しい情報を入手し、慌てずに行動することが重要です。

警戒レベル
4

※避難勧告は廃止されました

警戒レベル		新たな避難情報等	住民の行動
5	災害発生 又は切迫 	きんきゅうあんぜんかくほ 緊急安全確保 ※1	直ちに安全確保
レベル4までに全員必ず避難!!			
4	災害の おそれ高い 	ひなんしじ 避難指示 ※2	危険な場所から 全員避難
3	災害の おそれあり 	こうれいしゃとうひなん 高齢者等避難 ※3	危険な場所から 高齢者等は避難
2	気象状況悪化 	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	避難に備え、ハザード マップなどにより、 自らの避難行動を確認
1	今後気象状況 悪化のおそれ 	早期注意情報 (気象庁)	最新の防災気象情報に 注意し、災害への心構え を高める

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

避難する際の新型コロナウイルス感染症への対策

- 避難する際は、マスク、消毒液、体温計など自分や家族が必要とするものは、持参できるよう用意しておきましょう。
- 避難先では、マスクを着用するとともに、手洗いやアルコールなどによる消毒、咳エチケット等の基本的な感染対策を徹底しましょう。
- 避難先で、発熱や咳等の症状が出た、あるいは体調がすぐれない場合は、速やかに避難所運営スタッフに申し出ましょう。
- 行政が指定した避難先だけでなく、安全な親戚・知人宅への避難も普段から相談しておきましょう。



東日本の広い範囲に記録的な大雨をもたらした令和元年東日本台風は、福島県内では初めてとなる大雨特別警報が発表されるなど、各地で甚大な被害が発生しました。本組合管内では6名の尊い命が失われたほか、広大な面積が浸水するなど記録に残る大きな被害を受けました。災害はいつどこで起こるか分かりません。だからこそ、これまでの教訓をいかした事前の備えが重要です。

災害からの被害を最小限にするには **自助・共助・公助** の3つすべてが大切です。

自然災害からの被害を最小限に抑えるためには、自助・共助・公助の3つの要素が最大限に機能することが大切です。

自助 とは、自分自身で自分や家族の命を守る行動を言います。平時から家具の固定をしたり、ハザードマップで周辺の危険な場所や近くの避難所を確認したり、いざという時のための備蓄品の用意をしておくことで自分自身や家族の命を守ることにつながります。

共助 とは、住んでる場所や職場などの近隣の人同士で協力して助け合う行動を言います。

公助 とは、消防などの行政機関などによる救助活動や被災者支援を言います。自分自身や家族、周囲の人だけでは解決できない問題に対応することです。



大規模災害時の自助・共助の重要性

東日本大震災や令和元年東日本台風のような大規模な災害時は、消防をはじめとした行政機関がすべての被災者に対して迅速に支援することが難しく、さらには行政自身が被災し行政機能が麻痺してしまう場合があります。特にここ数年頻発している豪雨や台風による災害は、被害が広範囲かつ長期化することが多いことから、発災前の早めの避難行動を含めた自助・共助がますます重要となってきています。



台風などは事前にある程度の**予測**ができます。

雨が降り始めたらテレビやラジオ、スマートフォンなどで気象に関する情報や避難に関する情報を積極的に入手しましょう。大雨の際、各市町村から災害の危険度に応じた3種類の情報を発信します。(避難情報の詳細は左ページ参照。)避難に関する情報を入手したら、危険が迫る前に早めの避難行動をとりましょう。

「今まで大丈夫だったから今回も大丈夫」という考えは絶対に止めましょう。人は、自分が危機的状況にあっても避難行動をとれない場合があります。その要因の一つは、危険や脅威を軽視したり、事態を楽観的に見てしまい、「自分だけは大丈夫」と錯覚する心理状態になるからです。このような心理状態に誰もがなってしまう可能性があることを理解し、適切な避難行動が取れるようにしましょう。

間に合わない時は「垂直避難」

土砂災害の多くは木造建物の1階部分で被災しています。逃げる時間がない等緊急の場合は近くの頑丈な建物や自宅の2階以上に避難する「垂直避難」も有効です。

火災ゼロ NEWS

コロナ禍の中、巣籠もり生活で電気の使用が増え、電気配線からの出火が増加しています。
今こそ自宅の電気配線の**再点検を!!**

安全で安心な暮らしをサポート！
火災予防に関する様々な情報をお届けします。

いざ! 防災

— 使える防災情報コラム —

『電気配線からの火災に注意』

電気配線からの火災は、季節を問わず発生しています。本組合管内で電気製品やコードから出火した火災は2020年中に9件、2021年は6月までに15件(前年比9件増加)発生しました。コロナ禍で自宅での電気製品の使用頻度の高まりにより火災が増加している傾向があります。身の回りの電気製品、電気配線を点検し、火災を未然に防ぎましょう。

■主な電気火災の内容■

- **過電流**(たこ足配線はやめて許容電流に注意！)

コンセントや延長コード(テーブルタップ)には定格容量(許容電流)が決まっています。

たこ足配線などにより、定格容量を超えて一度に多くの電気機器を使用し続けると、過電流が流れ、発熱して出火する恐れがあります。

電気機器の消費電力、コンセントや延長コードの許容電流を確認し、定格容量内で使用しましょう。

許容電流
1500ワット



- **接触部過熱**(コンセントのゆるみやプラグのぐらつきに注意!)
配線または電気機器の**接続部がゆるむ**と接触抵抗が増加して**発熱し出火**する恐れがあります。また、**プラグの差込みが不十分**の場合にも、プラグがはずれかけて接触面の電気抵抗が増加し発熱する恐れがあるので、プラグはしっかりとコンセントに差し込みましょう。



受刃に隙間が
できている状態



- **半断線**(コードのひっぱり、折れ、挟み込みに注意！)

コードや配線が**ひっぱられたり、折れたり、踏まれたり、挟まれたりすることにより**、配線の中の一部が切断状態(半断線)になり、残った部分に負荷がかかり**発熱し出火**する恐れがあります。



- **コードを束ねること等による過熱**(束ねたり、巻くと熱がたまるので注意！)
コードを**束ねたまま**や、じゅうた

ん等の下に敷いた状態で使用すると、コードの熱が**放散されず**なり**過熱して出火**する恐れがあります。

- **短絡(ショート)**(配線の劣化や傷に注意！)

電気コードの**配線が劣化したり、傷がつくことなどにより**、配線の両極が直接電氣的に結ばれてしまうと**短絡(ショート)**を起こして、**出火**する恐れがあります。

- **素人工事による出火**(電気工事は専門業者に任せましょう！)

素人配線工事は**絶対にやめ**ましょう。配線の接続不良などにより出火してしまう恐れがあります。

- **安全基準に適合した電気機器、コードを使用する。**
(PSEマークが目印)



各メーカーなども交換の目安を「3年から5年」としているほか、それより前でも「タップが熱い」「抜き差しが緩い」などの異常があれば交換を推奨しています。

コードはたばねて使わない 安全のために つど点検してください

コードは束ねて使用しない

製品の交換目安は3年～5年

製品の交換目安は3年～5年

つたえる予防ひるば

危険物にZoom

今回は消防法で定める危険物に関するスペシャリスト予防課危険物係を紹介します。

～ 危険物係とは ～

ガソリンや灯油などの石油製品に代表されるように、危険物は私たちの生活に必要不可欠ですが、その反面、ひとたびその取扱いを誤れば、火災、爆発等の災害を引き起こす危険性を持っています。

危険物に起因する火災等の災害を防ぐために、消防法では、指定数量以上の危険物の貯蔵、取扱いを一般的に禁止していて、危険物施設の設置にあたっては市町村長等の許可が必要になっています。

危険物係は、文字通りそれら危険物施設の許認可の審査や検査を主に担当しています。



ガソリン等を入れる地下タンクは、埋設前に傷の有無や設置状況について、中間検査を行います(左写真)



各種届出や許可申請が提出された場合に審査を行います(右写真)



工事終了後、位置、構造、設備が基準どおりか検査を行います(右写真)

～ 指定数量とは ～

危険物は非常に多種多様であるため、その危険性に応じた一定の数量(指定数量)を定めています。

例えば、ガソリンは、第4類(引火性液体)の第一石油類に分類され、その指定数量は200ℓとなり、灯油や軽油は、同じく第4類の第二石油類となり、指定数量は1,000ℓと定められていて、それ以上の貯蔵や取扱いは許可が必要となります。



危険物規制は専門性が高く、また度々関係法令が改正されるため、職員向けの実務講習会などを定期的に行い、危険物係はその講師も務めます(左写真)

危険物施設ができるまで

- ① 設置計画、事前相談
- ② 設置許可申請
- ③ 審査
- ④ 許可(許可証の交付)
- ⑤ 工事開始
- ⑥ 中間検査
- ⑦ 完成検査(完成検査済証の交付)
- ⑧ 使用開始



危険物施設は新たに設置する時だけでなく、変更の工事をする時も同様の手続きが必要です。

～ 危険物施設とは ～

- ① 製造所 危険物を製造する施設
例 化学工場 製油所など
- ② 取扱所 危険物を取り扱う施設
例 給油取扱所(ガソリンスタンド) 一般取扱所など
- ③ 貯蔵所 危険物を貯蔵する施設
例 移動タンク貯蔵所(タンクローリー) 屋内貯蔵所など



危険物豆知識

ガソリンの性質についてどのくらい知っていますか？

農機具等の燃料や夏祭りの屋台などで使う発電機の燃料として、ガソリンを貯蔵する機会が増える時季です。ガソリンは揮発しやすく少量でも極めて引火しやすい特性がありますので、取扱う際は細心の注意が必要です。

ガソリンの容器はなんでも良い？



答え

灯油用ポリタンクに入ると、容器が圧力に耐えられないことがあるので、専用の金属製容器に入れましょう。

ガソリンと灯油の危険性は同じ？



答え

ガソリンは、引火点 -40°C 以下と低く、極めて引火しやすいため、灯油よりも危険です。



熱中症予防と応急処置

熱中症は、高温多湿な環境に身体が適応できない場合に生じる症状で、屋外だけでなく環境によっては屋内でも発症することがあります。

また、今年も引き続き新型コロナウイルス感染症の感染防止のためマスクを着用する機会が多いことから、マスク着用中の熱中症予防にも注意する必要があります。

- ◎子どもや高齢者は、体温調節機能が未発達もしくは低下しているため熱中症になりやすい
- ◎年齢に限らずマスクの着用により、熱中症リスクは高まる



暑さを避ける

- ・暑い時間帯は不要不急の外出を控えよう
- ・屋外で周りの人との距離がとれるときはマスクを外そう
- ・外出時は日傘や帽子をかぶろう
- ・エアコンや扇風機を活用し部屋の温度と湿度を調整しよう



※感染予防のために、エアコン使用時も定期的に換気しよう



こまめに水分補給

- ・のどが渇く前に水分補給
- ・1日あたり1.2リットルを目安に
- ・汗をかいた時は塩分も補給
- ・運動時は時間を決めるなどして計画的に水分補給



暑さに備えた身体作り

- ・暑くなり始めの時期から適度な運動をして汗をかきやすい身体を作ろう(暑熱順化)
- ・暑さに慣れるまでには個人差もありますが数日から2週間程度かかります



※暑さに慣れることで血流や汗の量が増え、体温調節機能が上がり、熱中症の予防につながります



日頃からの健康管理

- ・毎日の体温測定、健康チェックを習慣化しよう
- ・バランスの良い食事と、規則正しい睡眠を心がけよう
- ・体調が悪いと感じた時は外出せずに自宅で休もう



熱中症の応急手当

- 涼しい場所や日陰のある場所へ移動し、衣服を緩め安静に寝かせる
- エアコンや扇風機をつけて身体を冷やす



首の周り、脇の下、太もものつけね等太い血管の部分冷やす



飲めるようであれば水分を取らせる



- ◆意識がはっきりしない
- ◆自分で水分が取れない場合などは

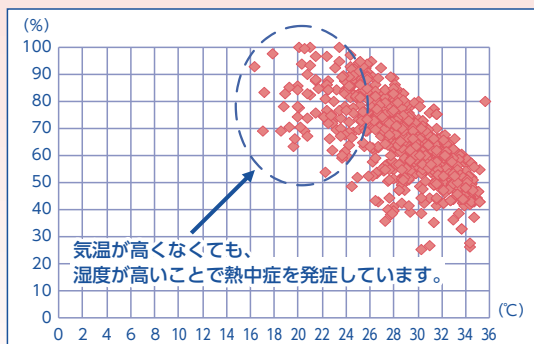
迷わず119番に電話！



救急データからみる熱中症予防

救急データを分析し住民の皆さんに分かりやすく示すことで、身の周りのリスクを「見える化」します。一人ひとりのちょっとした行動の変化により病気やけがを防ぎ、医療に対する負担を軽減しましょう。ここでは、管内の過去5年間(2016年から2020年)の6月から9月における熱中症による救急データを紹介します。

気温と湿度



熱中症による救急要請時の気温と湿度の関係をみると(気温、湿度は消防本部庁舎での観測データ)、気温の高さとともに湿度の高さが大きく影響し、気温がそれほど高くなくても湿度が高いことで、熱中症を発症し救急搬送されていることがわかります。

湿度が高いと汗が蒸発しにくくなり身体に熱がこもることで、熱中症リスクが高まります。

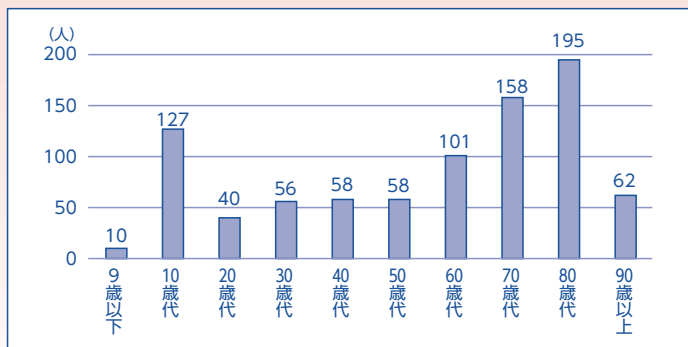
梅雨の時季や朝夕の時間帯、屋内などで気温が高くない環境であっても、湿度に着目し、こまめな水分補給など基本的な熱中症対策を怠らないようにしましょう。

屋内の場合は、エアコンの除湿機能を活用するなどしましょう。

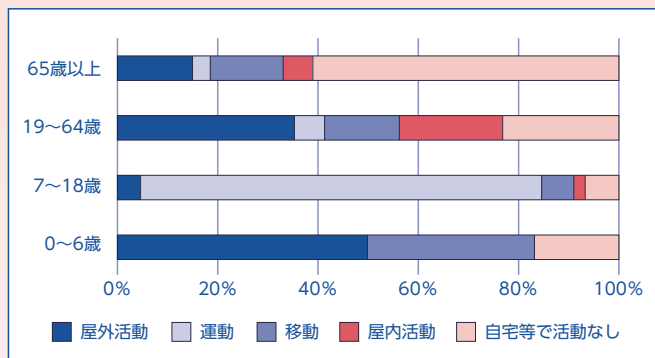
年代別の搬送人員

年代別の救急搬送人員をみると「80歳代」が最も多く195人(22.5%)、次いで「70歳代」が158人(18.3%)、「10歳代」が127人(14.7%)と続きます。

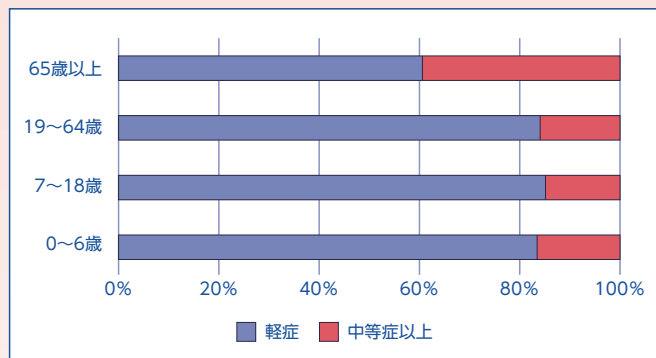
子どもと高齢者の年代で、多く救急搬送されていることがわかります。子どもや高齢者は、体温調節機能が未発達もしくは低下し熱中症になりやすいため、周りの人が配慮するなどして特に注意しましょう。



年代別の発症時の行動



年代別の傷病程度



熱中症を発症した際の行動を年代別にみると、「65歳以上」では、「自宅等で活動なし」の割合が6割以上と他の年齢区分と比較してとても高いことがわかります。高齢者では、自宅などの屋内で特に活動的に動いていない時であっても熱中症に対する注意が必要です。

「7~18歳」では8割が「運動中」に熱中症を発症していることから、運動前の体調確認や、運動中の体調の変化に十分に注意するとともに、計画的な水分補給と適度な休憩によって熱中症予防を図ることが必要です。これらは、子ども自身の判断だけでなく、周囲の大人の配慮が大切です。

また、年代別の傷病程度をみると、「65歳以上」では約4割が入院が必要な「中等症以上」と診断されており、高齢者は熱中症になりやすいだけでなく、重症化しやすいことがわかります。

郡山地方広域消防組合職員募集《令和4年4月1日採用予定》

令和4年4月1日採用予定の職員採用候補者試験を行います。

受験の申込みは、郡山地方広域消防組合ウェブサイトから手続きをすることができます。

○募集人員 9名程度

○受験資格 平成8年4月2日から平成16年4月1日までに生まれた方
(学歴は問いません。)

○受付期間 令和3年7月16日(金)から8月20日(金)まで

○第一次試験 実施日 令和3年9月26日(日)

会場 郡山地方広域消防組合消防本部及び
郡山市労働福祉会館

○お問い合わせ 消防本部総務課人事教養係 ☎024-923-1708



夏はハチ刺されに要注意!

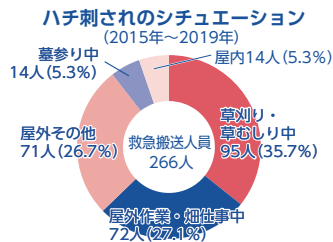


夏はハチ刺されによる救急搬送が多発します。

ハチ刺されは場合によってはアナフィラキシーショックなどによって重症化する恐れもあります。

<刺されないためのポイント>

- 草刈り、畑仕事の際は、長袖長ズボンを着用
- ハチを見かけた際は、手で払ったり駆け出さない
- 自宅などでハチの巣を発見した場合は、必ず専門業者に相談する
- 洗濯物等に紛れ込み屋内に入ってきた時は、刺激せずに窓を開けて外に出ていくのを待つ



<刺された時の応急処置>

- ハチに刺された時は、傷口を流水で洗い流し安静にして様子を見る
- 息苦しさや冷や汗、めまい、じんましん、嘔吐、しびれなどの症状が出た場合は、速やかに病院で診察を受けるか119番通報する

簡易水防工法YouTube動画

急な大雨の際に家庭にあるもので応急的な浸水対策ができます。用意するものは、①段ボール、②ポリ袋、③レジャーシートです。ぜひ動画で確認してみましょう。

※短時間の大雨の際のみ有効です。台風や長雨の際は避難を優先しましょう。



情報公開制度と個人情報保護制度の運用状況 (令和2年度)

情報公開制度

公文書開示請求

実施機関	請求	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
消防長	4	0	4	0	0

公文書任意開示申出

実施機関	申出	全部開示	一部開示	不開示	取下げ
消防長	7	2	5	0	0

個人情報保護制度

自己情報開示請求 請求なし

審査請求及び行政訴訟

公文書開示請求及び自己情報開示請求に係る決定に対する審査請求及び行政訴訟はありませんでした。



詳細はこちらをご覧ください

